

事務事業評価表

記入年月日				
平成16年度	事業コード	11220	電話	042-769-923
担当部課名	保健福祉部	高齢者福祉	課	いきいき応援グループ
事務事業名	あじさい(高齢者)大学運営事業			
予算上の事務事業名	あじさい(高齢者)大学運営事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	安心して生活できる福祉社会を作ります	事業開始年度
基本施策名	第2節	いきいきとした高齢社会の創造	63以前 年度
施策名	第2施策	高齢者の社会参加と生きがいづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

あじさい大学設置運営要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
高齢者の方々が、心身共に健康で生きがいと喜びに満ちた生活を送るため、学習活動を通じて仲間づくりと知識・技能の習得を図り活力ある社会の発展に寄与することを目的とし、あじさい(高齢者)大学を開設している。本格的な高齢社会をむかえるなかで、高齢者の学習の機会の提供や仲間づくりをすすめることにより、健康で生きがいを持って暮らせる社会活動の参加促進をはかる。	60以上の高齢者
	対象数 単位
	125,148 人
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
定員 888人 入学申込者数(抽選)1,849人(倍率2.08) 会場 あじさい会館、若竹園、けやき体育館、ソレイユさがみ 入学式、修了式(修了者数850人 修了率95.7%) 運営委員会(年2回)、委員長懇談会(年2回) 学生・OB交流作品展(18日間 入場者数2,942人) 運動会、夏季・秋季公開講座(3日間 参加者659人)、OB活動の支援(あじさい会館第1和室の専用開放) 平成14年度に今後のあじさい大学運営の見直しを行い、15年度実施 (講師の依頼基準の設定(講師歴、年齢の制限)、謝礼の見直し、学科の増設、市内大学との連携)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	高齢者保健福祉計画
計画年次	15年度~19年度
	高齢化が進む中で、高齢者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるよう、施策等の展開を計画するもの。(第2期 平成15年度~19年度)

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
成果指標	修了率(%)	修了者数/受講者数	受講者のうち修了者率出対象者の熱意をはかる。	94.6%	94.6%	95.7%	95.7%	96.0%
活動指標	対象者に占める受講希望率(%)	受講希望者数/対象者数	対象者の受講希望率をはかる。	1.5%	1.4%	1.6%	1.6%	1.7%

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
	決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
事業費	23,327	23,343	21,000	27,509	31,183
人員・時間数					
人件費	24,417	20,476	21,316	28,334	36,828
その他経費					
合計	47,744	43,819	42,316	55,843	68,011
特定財源				13,754	18,000
対象数(人)	678	778	888	912	1,000
単位あたり経費(円)	70,418.9	56,322.6	47,653.2	61,231.4	68,011.0

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	学習や仲間づくりの機会の提供として実施しているが、急速な高齢者の増加に対応するためには、さらに拡充する必要がある。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 急増する高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの機会としてのニーズが高まってきている。大学の公開講座や民間カルチャーセンターの充実や自主的なサークル活動も増加している。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	生きがいづくりや仲間づくりのきっかけとなり、1年間の学習修了後も自主的かつ活発なOB会として継続した活動につながっている。
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 学習の機会だけでなく仲間づくりの場であることや、1年間の学習修了後もOBサークル活動を継続するなど社会参加の機会の増加や介護予防に大きな効果が得られている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	対象者である高齢者の急速な増大に伴い、応募率は2倍となり、受講希望に対応できていない。公平性を保つためにも受益者負担の観点から受講料の有料化を検討していく必要がある。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
高齢社会の中で、受講希望者の増大が見込まれることから、定員・学科・会場の増設に伴う環境整備や短期講座や公開講座の開催の増等の対応とし、更に、あじさい大学修了後も自主的に継続するOB活動の支援に努める等社会参加を促進し、併せて介護予防を図る。		受講希望者の増大に対応する会場等の確保・整備等 受益者負担としての受講料の有料化	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		他自治体も同様な目的で実施している。他市と比較し、実施回数や期間は同等以上の実施をしている。事業の実施方法については、生涯学習財団や社会福祉協議会・社会福祉事業団等に委託し効率化を図っている自治体もある。
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	高齢者の増加に伴い、生きがいづくり・仲間づくり・高齢者の社会参加を促すことが必要であり、介護予防の観点からも事業の拡充をはかる必要がある。
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

<今後の進め方:見直し>
